

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■高効率・小型バイナリー発電システム「マイクロバイナリー」

当社では、昨年10月、地熱や工場排熱などの低温の未利用熱を利用して発電する高効率・小型バイナリー発電システム「マイクロバイナリー」を開発し販売を開始しました。100kW以下の小規模な熱源に適用できる、国産初の製品で、小型で高効率、かつ量産用にパッケージングされたコンパクト設計で低価格であることが特徴です。販売開始以来、湯布院温泉、別府温泉、小浜温泉で、合計5台の採用が決定しています。

また、このバイナリー発電システムを利用して、株式会社東芝、慶應義塾大学とともに、「風力・太陽熱・バイオマスを合わせたバイナリー発電」の実証研究を実施する予定です。異なる3つのエネルギーを合わせて利用することで、自然条件が変化しても、安定した電力と温水の供給を可能とする、再生可能エネルギー利用システムの開発をめざします。

当社は、この小型バイナリー発電システムのほか、小型蒸気

発電システムやヒートポンプなど、色々なエネルギーソリューションメニューを有しており、今後もこれらを通じて、再生可能エネルギーによる創エネや未利用エネルギーの有効活用の実現に貢献していきます。

■児童館出前エコ教室について

当社では、2001年度から行なってきた支援活動を深化させ、2011年度から我々自身が活動に取り組む「実働・参画型」支援活動として再スタートしました。

その支援活動の一つとして「児童館出前エコ教室」を神戸市内3箇所の児童館で開催しました。当社は、神戸市が主催する「神戸こどもエコチャレンジ21倶楽部」の設立趣旨である、未来の子供たちが、楽しみながら、遊びながら、体を動かしながら、環境保全活動の大切さを学ぶことに賛同し、2011年度からこの「出前エコ教室」を行なっています。

子供たちには、鉄の特性についてのクイズ、自分たちで電気を作る実験、などを通して、リサイクルの大切さや電気の重要性などを、楽しく理解してもらいました。

当社は、今後も児童館出前エコ教室や森林整備活動など、環境の大切さを次世代に伝えていく活動に取り組んでいきたいと考えています。



社会貢献への取組み

社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、2012年度下期の支援先選定の準備を進めています。今年度からは、従来の当社事業所・研究所に加え、グループ会社の立地する市町にも支援対象を拡充していくことを決定しました。上期には、兵庫県・加古川市で小学生を対象とするソフトボール大会を共同開催しました。

このほか、当社の地域交流施設である灘浜サイエンススクエアでは、今年の夏休みに、多数の子供向けのイベントを開催しました。煮干しを手で解剖し、骨や内臓などを取り出し観察したり、押し花、押し葉、木の実、木の枝を使って、ネイチャークラフトを作ったりするなど、動物や植物に親しんでもらう良い機会となりました。

また、当社の高砂製作所では、子供向けの工場見学会を開催しました。巨大なプレス機や組立型クランク軸など迫力ある製品群を実際に目にすることで、ものづくりの面白さを知ってもらいきっかけになりました。



ソフトボール大会の様子

ラグビーを通じての活動

ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、6月2日・3日の2日間にわたり、岩手県釜石市を訪問し、ジャパンラグ

ビー トップリーグの下部組織にあたるジャパンラグビー トップイーストリーグ所属の釜石シーウェイブスRFCと共にボランティアの清掃活動や地域住民の方と交流会、またラグビー教室を開催し、被災地支援活動を行ないました。

今回の活動は、お互いに大震災を経験したチームとして合同で復興の手助けになる事が出来ないかという想いから実現したものです。6月2日の被災地支援活動では、釜石市鶏住居町の根浜海岸周辺で両チーム、選手・スタッフ約80名が、がれきや流木の撤去や、側溝の泥を取り除く活動を行ないました。交流会では、昨年度トップリーグ開催期間中に選手全員によって集められた1点10円募金※と、スタッフ有志からの寄付金を合わせた計181,235円を「釜石市スポーツ振興基金」に寄付いたしました。また両チームのサインが入ったジャージやグッズなどが当たる抽選会を行なうなど地元住民の方々と交流を深めました。

翌3日は、釜石市陸上競技場にて、小中高生約100人を対象にしたラグビー教室を開催し、小学生はボールを使ったゲームなど、中高生にはコンタクト練習やポジションに分かれての練習を行ない、最後には両チーム混合チームと小学生とがタックルの代わりに腰に付けたタグを取るルールのタグラグビーの試合が行なわれ、終始、笑顔の絶えない楽しいラグビー教室となりました。

神戸製鋼コベルコスティーラーズは、今後もラグビーを通じ、被災地支援活動を続けてまいります。

※トップリーグ2011-2012全13試合の得点1点につき10円を選手全員で集めた募金

